

北陸民放クラブだより

富山

旅行部会十余年を振り返る

森元(BBT)

旅行部会では年2回、日帰りバスツアーを実施している。

平成18年から秋は京都の名刹と紅葉の庭園巡り。夏は涼を求めて北陸・信州の自然、名所、食べ歩きを楽しんでいる。

平成24年から京都方面には民放クラブ・石川と合同で旅をし、交流を深めている。又、石川クラブの能登一泊の祭り企画に参加、平成21年から4回、祭りを通して能登の多彩な歴史、風土を学んだ。旅行の参加者は平均25人程度で、幸いにも現地で雨天の経験はほとんどない。



2017年晩秋 国宝彦根城

印象深い名刹の仏像は浄瑠璃寺「阿弥陀如来坐像」、三千院「阿弥

陀三尊坐像」、禅林寺「阿弥陀如来立像」、広隆寺「半跏思惟像」。

天井絵図では妙心寺「雲竜図」、相国寺「蟠龍図」、信州小布施岩松院「鳳凰図」です。

昨秋は彦根城(写真)、湖東三山を訪ねた。今年は奈良東大寺正倉院展の観覧を計画している。

石川

民放C石川に「女子会」が誕生

矢儀和子(MRO)

民放クラブ・石川の活動計画のひとつに会員の拡大が掲げられています。その一環として、女性会員の加入促進をめざしています。

2018年4月11日の民放クラブ石川総会終了後、女性出席者の方々9名の参加で、かねてより創立を期待されていた「女子会」が結成されました。

この会は、民放クラブ石川在籍の女性を中心に、いろいろな集まりや行動を共にすることで、よりクラブの親近感を深め、同好会では交流できない人たちも取り込み、将来的には新規の会員の増

員にもつながる交流サロンとしての存在になればと考えています。

その第1回として、北陸放送OGが今のところ主体なので、私たちの原点であるMROの現在の社屋の見学会を6月11日に開催しました。

退職して数十年の方から数年の方までさまざまですが、なかなか一人ではもう社内には入りにくいこともあり、民放クラブ・石川女子会の希望ということで申し込みました。

こうした活動がきっかけとなり、女性会員を増やすことができればと思っています。

福井

春の幸楽会へ福井の幸を満喫

宮前庄三(FBC)

クラブでは春の行楽会行事として日帰り旅行を行っているが今年は趣向を変え福井の美味しい物に舌鼓をとる企画になり、3月5日福井市上東郷町の空き家を活用した地域の拠点茶屋「杵と臼」に25名が集まる。

広い座敷に並べられたテーブルの上にはてんこ盛りの「ズボガニ」と、大野の名産「里芋の煮っころ

がし」がずらりと並んでいる。越前町から今朝届いた美味しそうなカニ。早く食べたい焦りのせいか伊藤会長の挨拶がやけに短い。さつそく食する。

やはりカニを手にするのと無口になるが、「カニの食べ方奉行」の講釈で足や爪を縦に割るとか横に折るなどにならなうなづき、ズルツと身を口に流し込む。美味しい。静かに食べているが、今年の豪雪の話になると盛り上がる。里芋も醤油の素朴な田舎の味がして、箸が止まらず次々ほおぼってしまう。

カニと里芋が一段落すると「おろし蕎麦」。日頃、JR越前東郷駅前にある喫茶&スナック「こびり庵」でそば打ち名人達が我々のため前日から用意したそうです。続いて「トン汁」。大野の里芋など野菜がいっぱい、これもなかなか美味。

もうこれでおしまいかと思いきや、次は「そばだんご」。「おろし蕎麦」を2杯食した。中野副会長の「秋には今年も干し柿づくりを行いますので、皆さん参加を」との挨拶があり、終了。全員、余ったズボガニの土産を手到家路に着く。